

協議会たより

第 118 号 発行平成 21 年 3 月 1 日

障害者スポーツ指導員協議会総会が行われます！！

4 月 25 日(土)王子スポーツセンターにて総会が開催されます。

例年とおり前半は研修、後半は総会となっていますので、ぜひ参加をお願いいたします。

委任状の提出をお忘れなく!!

理事会報告

第 6 回 理事会報告

日時：2 月 21 日（土）午後 5：00 王子スポーツセンター

出席：前田、佐野(里)、井上、矢本、高山、植田、近藤(和)、松浦、秋山、神保、荒井、大森、佐野(守)、秋山、三浦
 < 報告事項 >

1. 関東ブロックの動き

(1) 1・31 幹事会～三浦

1 月 31 日第 3 回関東ブロック幹事会が開催されました。報告では NPO 解散の件、全国研修会と中級講習会の報告があった。全国研修会は北海道で開催、次年度は山口の予定。30 歳以下を対象とした若手研修は広島で開催。その他研修アンケートについて、会計報告を行った。

(2) 中級養成講習会～高山

前期日程が終了し、後期は王子で行う。講義内容の変更、救急処置講習に関連した資料代で自己負担あり。運営にあたり理事の皆さんの協力をお願いしたい。

< 協議事項 >

1. 総会の開催について～三浦

4 月 25 日(土) 13：00～18：30 の日程で開催

役割分担 会則の改正：(植田) 研修・進行：(高山) 総会・進行：(三浦) 書記：(松浦、佐野) 懇親会：(矢本)
 総会資料をたよりで会員に発送する。

2. 各事業部の 20 年度総括・21 年度の事業計画～総会資料参照

1) 総務部会～近藤(和)

2) 研修部～井上

3) 広報部～秋山

今年度は年 5 回の発行であったが、予算上の問題で次年度は 4 回の発行とする。ホームページ上にたよりをアップすることで、郵送分を減らしていきたい。どちらかを選択してもらえそうなシステムを目指す。

4) 会計～佐野(里)

3. たよりについて～1654 通発行予定

次回理事会は未定

関東ブロック平成 20 年第 3 回幹事会報告

日時：1 月 31 日（土）午後 1：00 スポーツ協会

出席：浅井(群馬)、藤極(横浜)、古賀、渡辺(千葉)、及川(茨城)、渡辺(埼玉)、牛島(神奈川)

前田、岡、佐野(里)、高山、植田、三浦(東京)

前田会長挨拶～王子での研修が好評でした。21 年度も実施したい。ひきつづき情報交換を。全国研修会実施の場合も協力をお願いします。

各自の自己紹介

< 報告事項 >

1. 全国協議会の動き

1)理事会～前田・今まで以上の情報交換を

藤極・税金対策でNPOを解散した。会費、窓口などはいままでと同じ

近藤・会費に対する情報公開が必要では？解散の説明責任がある。

植田・元に戻ったということ。規約の改正が必要、次回提案したい。

2)指導部会～高山・特に報告事項はない。中級講習、後期施設の押さえが大変だった

3月21日は東京マラソンと重なるが実施。現場で活躍している講師を依頼した。3月22日中級閉講式で関東ブロック幹事の方に挨拶をしていただく(予定)

3)研修部会～植田・全国研修第5回、北海道で行う。全体で200名、次年度は山口で開催。その次に関東で行う。

年々バージョンアップしている。ユースパラ、千葉での国体も近づいている。若手(30歳以下)研修は今年2回目広島で行う。21年度は仙台で。地方の活性化がねらい。東京からの参加も可能。ステップアップ研修も共同で行う。各地域の指導員の希望を出してもらう。

全国研修は3年がかりのとりくみとなる。

及川～中長期の計画は出せないのか？ブロックの順番など

植田～研修部の部員がその地域でどこまでできるかが現状である。長期の設定は困難である。

及川～実施を行う基準はあるのか？やり方はいろいろあると考えられる。

前田～交通のアクセスや、宿泊地などが考えられる。

古賀～どのくらいの規模が必要か？

植田～300名の参加者がメド。

及川～最低の必要条件を研修部で示してほしい。(植田氏が対応する)

《各県の報告》

茨城・及川～資料あり

横浜・藤極～ラポールとの一体化で地域支援。横浜マラソン、ラポールでのイベントでの関与を行っている。

現在ラポール内での電話設置ができない状況。

神奈川・牛島～県大会の協力、ティーボールなど。

千葉・古賀～県と千葉市の協力が中心、千葉は国体の準備が進んでいない。心配です。

埼玉・渡辺～主に大会の支援を行っている。活動が少し行き詰まっている。独自の取り組みがもとめられている。

東京・前田～課題は多いが、アジアユースパラなど。両センター行事の補助、各競技団体への協力。

活動会員は300名ほど、指導員のネットワークが必要。

<協議事項>

1.実践研究発表会のまとめ

1)アンケート集計の要旨をまとめて送付(予定)

2)会計報告～佐野・残金8000円は？関東ブロックの会計に戻してはどうか？了承

3)次年度に向けて

古賀・地域でできるものの情報が必要と感じた。

渡辺・地域が広いので、自宅から近くの場所での活動スタイルができてきている。活動のノウハウなど、千葉にはセンターが無いので場所探しからスタートしている現状、交通のアクセスも課題となっている。

及川・こちらからどうしたいか？によるアンケートではおおむねやる方向だが「良くわかった」と「やりたい」は別。アンケートからニーズは読み取れず。植田氏に継続してやってほしい。開催場所持ち回りはどうか？もう1～2年は東京で。

渡辺(埼玉)・近いので参加は多かったが、他県での実施も必要。

高山・身近な素材を使っでの支援方法をやってみてはどうか？どこにでもある用具を使ったとりくみ。

藤極・情報を日本スポーツ協会に提供しておけば参加者が増えるのではないか。

及川・アンケートの結果もアップしておけばいいのでは。

2.年間事業計画について 植田～資料あり

3.ユースパラの現状 近藤～資料あり

4.関東ブロック主催事業での手話通訳者、介助者の用意

*もう少し論議が必要。及川さんが担当し調査を行う。

次回幹事会は未定



会員の活動報告

今回はいろいろな講習会・研修会・大会が開催され、多くの会員の皆さんが参加してくれました。

【コーディネーショントレーニング研修会】

最近、「コーディネーション・トレーニング」という名前を目にするようになり、なんとなく気になっていたの

これはよい機会、と参加させていただきました。まったく白紙の状態に参加したものの、発祥から現在に至る経緯も含めた佐藤講師のわかりやすい講義で自分なりにベーシックな部分を掴めたと感じます。たとえば「ドイツ」というキーワードにより、ホメオパシー療法（ドイツ発祥）を生活に取り入れている個人的な経験から、ひとつのホリスティックなアプローチなんだな、と解釈できました。また海外の状況を知ることで、日本で展開している「コーディネーション・トレーニング」を俯瞰視できました。実際に体を動かしてみて、この動きを、そして理論を自分の中で消化するのは簡単ではないと感じましたが、日頃関わっている障がい者乗馬の活動をより充実させられるヒントは得られたと思います。どうもありがとうございました。(O)



【脳性まひを中心とした肢体不自由のある子供のスポーツ研修会】

脳性まひを中心とした肢体不自由のある子供のスポーツ 研修会に参加させて頂き経験の浅い私にとって興味深い研修となりました。会場に入ると永年活動されている方が多く緊張しましたが気持ちを切り替え席に着きテキストに目を通しながら開始を待ちました。ビデオを交えた講義でとても分かり易く色々学ぶ事が多く集中して受講することが出来ました。ことに講師のジェスチャーしながらの状態を説明して下さったのは立体的に理解出来て大変有効だったと思います。知ると言うより発見といったほうが正しいと思う場面もあり、係員の「そろそろ時間です。」との声に誰一人立つ事も無く講義が続けられ 30 分位オーバーとなり研修会の必要性を痛感しました。終了後、周囲に目を通し深呼吸すると何故か新鮮な空気に包まれた様な気がして、『見て！聞いて！そして行動する！』を忘れずにこれからも安全で楽しい活動を行って参りたいと思い、関係者方々への感謝の心を胸に会場を後にしました。(N)



「研修会に参加して」 初めて研修会に参加させていただきました。様々な原因により身体が動かしにくいこと、運動困難の理由に、方向概念の形成や視覚、視知覚の発達の遅れが影響しているなど先生の話に吸い込まれ、あっという間の 2 時間でした。

現在、私はレクリエーションとしての水泳に携わっています。受講しながら、水泳に通ってくる子供や大人の顔やしぐさ、個々の特性を思い浮かべながら、指導への配慮や注意を再確認しなければいけないと思いました。また新しいスポーツが成り立つまでに、障害の程度に関わらず、多くの人に参加できるよう、でも、簡単にならないよう、工夫が凝らされているんだなと出来上がったものしか知らない私にとって新鮮な話でした。(H)

【ボランティア講習会】



1月24日、25日に開催されました障害者スポーツ講習会(入門編)に、25日のみ参加させて頂きました。

午前中の実技では講師の高山さんのご指導のもと、スポーツセンターを利用されているYさん、Kさんに入って頂き、アイスブレイキング、サウンドテニス、ポッチャをグループ全体で楽しませて頂きながら、支援法について学ばせて頂きました。ルールと道具を変更すれば誰もがスポーツを楽しめる、を体感させて頂いた時間となりました。また私は仕事では、精神に障害のある方の就労支援に携わらせて頂いて、日々個別支援の大切さを感じています。今回体験させて頂いた実技を通し、一言に「視覚障害」と言っても視覚の度合いが様々なのはもちろん、人によって得意分野、課題とされる点は様々で、それに応じて支援方法も個々に提供される必要があることを学びました。今後ボランティアとして活動させて頂く上でも、支援方法の引き出しが増やせるよう、これからも今回のような講習会に参加させて頂いたり、実際にスポーツをしている現場に出させて頂く中で学びや体験を積み重ねていきたいです。

午後の講義では、前半はすでにスポーツボランティアとしてご活躍されている方のお話を伺い、その後小グループに分かれての意見交換を行いました。グループディスカッションでは、自分の意見を言葉に出して伝えることにより、自分の考え方を再確認させて頂いたり、他の参加者の方の意見を伺って大変勉強になりました。後半は「障害者スポーツの現状」を大変分かりやすく話して頂きました。特に大きな障害者スポーツ大会それぞれの特徴や目的の違い、スポーツの普及には地域と関係機関を巻き込んだ活動が必要なることを学びました。これまで私はスポーツ大会の雰囲気が好きで、ボランティアとして各種大会などに関わらせて頂くことはありました。しかし今回の講習会を通し、本来障害者スポーツボランティアとは、自分たちの地域の活性化やスポーツの普及に貢献することも大きな役割であり、またそれが私たちの使命なのかもしれない、と強く感じました。より多くのボランティアの皆様と共に活動させて頂きたいです。

今後ともこれまでのようにスポーツ大会のお手伝いをさせて頂いたり、自分の住んでいる地域での活動や、スポーツの普及にも貢献させて頂きたいです。貴重な学習の機会を提供して頂きましてありがとうございました。障害者スポーツ協会の皆様、利用者の皆様、関係者の皆様はじめ、当日お世話になりました皆様にこの場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。(S)

「今回の講習をきっかけに」 2日間にわたってボランティア講習を受け、講義と実技を通して障害者スポーツボランティアについて学んだ。私は以前に障害者スポーツを体験したことはあったが、障害者スポーツのボランティアという内容は初めてだったため、講習を受ける前から自分の中で期待が膨らんでいた。

講義ではボランティアの語源やボランティアとしての心構え、障害者スポーツの現状など、今まで知らなかったことを知ることが出来た。ボランティアする際にそれらを知っていると、知らないでいるのでは大きな違いがあると感じる内容だった。

実技ではいくつかの種目を実際に体験したり、障害のある方と一緒にスポーツ交流をしたりした。そのような体験を通して、障

害のある方に対してどのようなサポートが必要なのかを考え行動することが出来た。しかし進め方に関して不満が残った。せっかくの体育館での実技なのに、お手本を見ているだけ、解説を聞いているだけの時間が長すぎると感じたからだ。障害者スポーツに関しては、健常者は自分自身で体験してみないとどういうサポートが必要なのか気づかないことが多いのではと思う。もっと「まず、やってみよう」という姿勢で臨みたかった。

私は大学生だが、他に社会人や高校生など、様々な年代の方が参加していた。他の参加者の方と話してみても、それぞれのきっかけでこの講習に参加したことを知り、また、同じように障害者スポーツボランティアに興味を持つ人たちとの対話が、刺激になった。この2日間一緒に講習を受けた方々と、またどこかボランティアの場でお会いできることを楽しみにしている。(Y)

【小平市立障害者福祉センター・スポーツレクリエーション教室】

私は、ボランティアで二回教室に参加させていただきました。教室では、ボッチャのほうに入り、参加者の皆さんと一緒にチームを組み、参加者の保護者や付き添いの方チームとゲーム試合等を行いました。

ボッチャは、障害や年齢問わず誰もが楽しめる面白い競技だと思います。私自身、ボッチャはまだ初心者ですが、この短時間の教室の中で、参加者の喜んだ笑顔や真剣な眼差し、いろいろな表情の変化を間近で感じる事が出来、自己主張の重要さやじっくり待つこと、必要以上の集中力の大切さを参加してみて、改めて学ばさせていただきました。

これからも参加者の皆さんと一緒に考え学び楽しみ、そして、いろいろな人達に伝えていきたいと思っています。(S)



【第5回多摩ボッチャ大会】

私は今回、友人二人と一緒に初めて第5回多摩ボッチャ大会に参加しました。ボッチャ大会に参加するのはこれで2回目ですが、個人戦の時とは違った緊張感と安心感を持ちながら、大会に挑みました。私達のチームは「Magic Balls」。1回戦目は、逆転したりされたりで、最終的にはどかんとやられ、2対6で敗退。負けたことは悔しかったですが、その悔しさよりも得点2点入ったことのほうが私は嬉しくて堪りませんでした。2回戦目は、緊張感も和らぎ、1回戦目よりだいぶマイボールをジャックボールに近づけさせることが出来、4セット目にはビタリとくっつけることが出来ました。そして7対1で初勝利。決勝トーナメントには上がれませんでした。1勝＆2試合合計9得点、チーム皆で取れたこと、1点の重み、そしてなにより楽しくプレーをすることが出来、また、このメンバーで参加したいと思っています。(S)

事務局からのお知らせ

【講習会のお知らせ】

◆ フットベースボール審判員要請講習会のお知らせ

日時:3月7日(土)13:00~16:00

場所:都立江東特別支援学校

受講料:無料

◆ サウンドテーブルテニス審判員養成講習会のお知らせ

日時:3月15日(日)9:00~17:00

場所:東京都多摩障害者スポーツセンター第1集会室

受講料:無料

上記の問い合わせ先

東京都障害者スポーツ協会 〒162-0823 新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ12F

TEL03-5206-5586 FAX03-5206-5587

【活動協力のお願いについて】

活動協力依頼は、1年間まとめてお願いいたします。長期にわたり予定も立たないと思いますが、ぜひご協力をお願いいたします。

【総会のお知らせ】

4月25日総会が開催されます。お忙しいと思いますが、出席をお願いいたします。

詳しくは指導員協議会ホームページ(<http://www.tcsid.jp/>)をご覧ください。

編集後記 我が家では大声を出して節分に豆まきをしました。昔はあちこちの家で「鬼は外、福は内」と声が聞こえてきたものですが、時代なのでしょうがちよっと寂しく(恥ずかしさ)感じました。梅の花が咲いているのを見ると、「春だなぁ...」と感じます。沈丁花の花の香りが「春だなぁ~」と感じます。2月はにげる、3月はさる。と昔の人はよく言ったものですね。